高都新聞　昭和28年5月1号

高時報

生徒大会

自治委員決る

三A栄月敬二　三A石井英明
各特設す　八田勝彦
三B倉田英明　三B石山久男
厳硬型

この前田　滋　(三C)
原侍子　(三B)
前回は、自治委員会でとりあげたくない、との三案出たが本日は保留した。これを承認し各位又後回は委員多数立候補の場合とほぼ様にして下さい。順向は募集、反対

自治委員候補者

前田　滋（三C）
倉田英明（三B）
宮下　裏（三A）
石井順夫（三A）

尚、自治委員中に他に適任と思う人があったら会場で推せんし、推せん理由を述べて下さい。

議事順序

一、一般報告（前委員長より）
二、会計報告　前委員より
引き続いて別に配布
三、自治委員候補者の発表
候補者演説（応援演説）
四、投票
五、投票中に次の事について
(1)自治委員会より
(2)この前の討論をまとめた報告し問題を提起する点をはっきりする。別項の
以上により活発に討

生徒大会

日時　五月十五日(金)
十時五十分より
一時十分まで
場所　講堂
決議
(1)問題点一般報告
(2)会計報告及質問
(3)最後委員長挨拶

学校側態度表明す

飲酒事件

真飲さ欠く

三年の反省會

九日の生徒大会終了後、校長始め三年担任・生徒代表が集まり、先日の飲酒事件の処理について反省会を開いた。飲酒した生徒の処分については、すでに職員会議で決定されているが、この会は、処分の内容を発表するとともに、事件の原因・背景を探り、今後の指導の参考にしようというのが目的であった。

校長は、生徒諸君には同一歩たる信念を持つことを望むと共に、教師側にも責任があるとして、教師の自覚が大切だと述べ、次に担任の先生から、事件の概要について報告があった。

それによると今春高士市に新設された県立高校の教諭先生を理由として行われた歓送会の席上、山春本田（数組分会長）が酒を飲んだのが発端で、三年生代表多数生から、酒の問題…本校内に学生としてこの様な事件が一部に於いて飲んだ点など、勇女共学の問題…その他の北町の通園の問題を指摘し、ついで校長から"旅行中大勢の人に迷惑をかけたことを深くおわびしたい"旨の発言があり次に生徒側の態度表明があった。

生徒側では、今回の事件を重大視し、全生徒を講堂に集め飲酒事件に対する態度表明を行い、全生徒代表委員多数生から、経過報告があり、飲酒の問題…本校内に学生としてこの様な事件が一部に於いて飲んだ点など、勇女共学の問題…その他の北町の通園の問題を指摘し、ついで校長から"旅行中大勢の人に迷惑をかけたことを深くおわびしたい"旨の発言があり次に生徒側の態度表明があった。

学校側の態度には形式的なものしか感じられず、酒に対する可否のものをなく、単に禁酒禁煙上等ってても駄目だ。積極的且具体的教育方針を示せ旨の声が起き、遂に午後四時頃まで討論を行いました。

八幡高校生徒大会で討論するやき議題を持っていこうと事前に、又は当日その場で提出して下さい。順向は募集、反対

友達を励ましそう

前号掲げた村八分事件の石川さんが通っている富士宮東高から此程新たに入学された会則先生からの様な報告があった。

師・女子七の級友、特結果として和解をかちえたのは良いと思う。最終解決をみたい。先生方も学校に於いては適切に飲まぬ事、又たが、女子も飲まぬ様にしてしまった感があった。

会は、初めの四単に一致的な酒の功罪が論じられ、個人的飲酒についての警告が繰り返されたその点を大石先生が"学校という場に於いて討議されるようにになっている。

転勤を命ぜられた。所がその先生を慕う沼川本田両先生を除いては留任に成功したが両先生のみは四月から転任になってしまった又留任に成功した先生方とそのグループは今なおかった生徒会係なものを載げて生徒会の対するモ張をしたり、座談会の中心人物に個別的に圧力を加えたり新聞部に特に反動的な生徒を入れて部長にしようとしたりする等毎に圧迫するまで、とどまれば知りかちな地域的運動展開運動を励ますため、生徒に特に勇気を与えている高校の激励文を生徒大会の決議書の形で送って欲しいとのことだ。

いた。会は九日と同様学校という一つの社会の秩序というもの中での個人的欲求を満す限界というものについて、また自分の問題として、それを現実に考え行こうとする試験の大切がこ年生の中に多くみられた。なお、この会では、今回の反省会を機として、再び川上事件を起させたくないという学校側の方針が強く示され、また、この問題に対しては十五日に再度集会を持つことになっている。

女性問題の新しい方向

一、婦人参政権に関する問題

婦人参政権問題は、婦人問題の中でも最も重要な問題の一つであるが、これについては、婦人自身の間でも、また男子の間でも、いろいろな意見がある。

婦人参政権の